

〔平成15年度設置〕

琉球大学大学院医学研究科医科学専攻（博士課程）
設置に係る年次計画履行状況報告書
（面接調査用資料）

国立大学法人 琉球大学
平成18年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部総務課

職名・氏名 企画広報係長・比嘉直樹ヒガ ナオキ

電話番号 098-895-1009

（夜間） 098-895-1009

F A X 098-895-1090

目 次

1	調査対象大学院等の概要等	1
2	授業科目の概要	2
3	施設・設備の整備状況，経費	9
4	既設大学等の状況	10
5	研究科・専攻・課程別教員組織の状況	12
6	留意事項に対する履行状況等	21
7	全般的事項	22

大学院等設置に係る年次計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

区 分	内 容								備 考					
(1) 設 置 者	国立大学法人 琉球大学													
(2) 大学院の名称	琉球大学大学院医学研究科 医科学専攻(博士課程)													
(3) 大学本部の位置	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地													
(4) 管理運営組織		認 可 時		変 更 状 況										
	職 名	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)		(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)										
	学 長	(モリタ モウシン) 森 田 孟 進 (平成11年6月1日)												
	研究科長	(イワマサ テルオ) 岩 政 輝 男 (平成12年4月1日)		(サカナシ マタオ) 坂 梨 又 郎 (平成16年4月1日)				平成16年4月1日付けで医学研究科長に坂梨又郎が就任した。						
(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学状況等														
調 査 対 象 研 究 科 等 の 名 称 (学 位)	認 可 時 の 計 画			入 学 状 況 等						基礎となる学部等 医学部 <医科学専攻> 平成16年度在籍状況				
	修業 年限	入 学 定 員	収 容 定 員	区 分	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平均入学 定員超過 率		平成16年度在籍状況			
医学研究科 医科学専攻(博士課程) 博士(医学)	4	25	100	A 入学定員	25	25	25	25	0.75	1年次 21人 [内訳] 入学者 20人 留年者 1人 2年次 11人 [内訳] 進級者 11人 留年者 0人 転専攻者 1人(H17 年度に早期修了) 退学者 1人 除籍者 1人				
				受験者数	17 (0)	22 (5)	17 (8)	23 (11)		平成17年度在籍状況				
				合格者数	15 (0)	20 (5)	17 (8)	23 (11)		1年次 18人 [内訳] 入学者 17人 留年者 1人 2年次 22人 [内訳] 進級者 20人 留年者 2人 3年次 9人 [内訳] 進級者 9人				
				B 入学者数	15 (0)	20 (5)	17 (8)	23 (11)		平成18年度在籍状況				
				入学定員 超過率 B/A	0.60	0.80	0.68	0.92		1年次 26人 [内訳] 入学者 23人 留年者 3人 2年次 16人 [内訳] 進級者 14人 留年者 2人 除籍者 1人 3年次 18人 [内訳] 進級者 18人 留年者 0人 転専攻者 1人 除籍者 1人 4年次 9人 [内訳] 進級者 9人				
				収容定員	25	25	25	25						
				在学者数	1年次 15 [1]	1年次 21 [2]	1年次 18 [0]	1年次 26 [1]		2年次 11 [6]	2年次 22 [2]	2年次 16 [0]	3年次 9 [0]	3年次 18 [2]

2 授業科目の概要

< 医学研究科医科学専攻（博士課程） >

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
研究方法論概論	1	2							
生命倫理学概論	1	2							
実験動物学概論	1	2				1			
情報医科学概論	1	2							
島嶼環境医学概論(前)	1~2		2						
国際保健医療学概論(前)	1~2		2						
熱帯医学概論(後)	1~2		2						
熱帯医用資源学概論(後)	1~2		2						
環境生態医学概論(後)	1~2		2						
神経情報医科学概論	1~4	2							
先進病態医科学概論(後)	1~4	2							
	未開講								
神経生理学特論(前)	1~4		2		1	1			平成18年度履修希望者なし
機能生理学特論(後)	1~4		2						
	未開講								
神経科学演習(通)	1~4		4						平成18年度履修希望者なし
	未開講								
神経科学実習(通)	1~4		4						平成18年度履修希望者なし
免疫学特論(前)	1~4		2		1				
感染分子生物学特論(後)	1~4		2			1			
免疫学演習(通)	1~4		4						
免疫学実習(通)	1~4		4						
	未開講								
画像診断学特論(前)	1~4		2		1				平成18年度履修希望者なし
放射線治療特論(後)	1~4		2			1			
医用エネルギー応用学演習(通)	1~4		4						
医用エネルギー応用学実習(通)	1~4		4						
神経病態制御学特論(前)	1~4		2		1				
神経機能賦活学特論(後)	1~4		2			1			
神経網再生・予防医学特論(前)	1~4		2						
脳血管賦活医学特論(後)	1~4		2						
	未開講								
神経賦活科学演習(通)	1~4		4						平成18年度履修希望者なし
	未開講								
神経賦活科学実習(通)	1~4		4						平成18年度履修希望者なし
	未開講								
視覚機能病態学特論(前)	1~4		2		1				平成18年度履修希望者なし
視覚器再生外科学特論(後)	1~4		2			1			
	未開講								
視覚機能制御学演習(通)	1~4		4						平成18年度履修希望者なし
	未開講								
視覚機能制御学実習(通)	1~4		4						平成18年度履修希望者なし
	未開講								
小児病態代謝特論(前)	1~4		2		1				平成18年度履修希望者なし
小児血液・腫瘍特論(後)	1~4		2			1			
育成医学演習(通)	1~4		4						
育成医学実習(通)	1~4		4						
	未開講								
側頭骨解剖・病理特論(前)	1~4		2		1				平成18年度履修希望者なし
感覚生理学特論(後)	1~4		2			1			
	未開講								
聴覚病態学演習(通)	1~4		4						平成18年度履修希望者なし

	未開講								
聴覚病態学実習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
病態神経精神医学特論 (前)	1~4	2		1	1				
中枢神経生理学特論 (後)	1~4	2							
心身医学特論 (前)	1~4	2							
	未開講								
精神病態医学演習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
	未開講								
精神病態医学実習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
	未開講								
先天異常特論 (前)	1~4	2		1	1				平成18年度履修希望者なし
人類遺伝学特論 (後)	1~4	2							
	未開講								
細胞遺伝学特論 (前)	1~4	2							平成18年度履修希望者なし
	未開講								
医科遺伝学演習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
	未開講								
医科遺伝学実習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
生体情報学特論 (前)	1~4	2		1					
	未開講								
病態情報学特論 (前)	1~4	2			1				平成18年度履修希望者なし
病原情報学特論 (後)	1~4	2							
	未開講								
先進検査医学演習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
	未開講								
先進検査医学実習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
	未開講								
医科認知情報科学特論 (前)	1~4	2		1					平成18年度履修希望者なし
医療経済病院経営情報学特論 (後)	1~4	2							
	未開講								
臨床情報管理学実習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
機能形態医科学概論 (前)	1~4	2							
再生臨床医科学概論 (後)	1~4	2							
機能解剖学特論 (前)	1~4	2		1					
系統・個体発生学特論 (後)	1~4	2					1		
	未開講								
機能解剖学演習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
	未開講								
機能解剖学実習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
修復細胞生理学特論 (前)	1~4	2		1					
血管生物学特論 (後)	1~4	2					1		
移植病態生理学特論 (前)	1~4	2							
分子・細胞生理学演習 (通)	1~4	4							
分子・細胞生理学実習 (通)	1~4	4							
循環生理学特論 (前)	1~4	2					1		
自律神経生理学特論 (後)	1~4	2		1					
平滑筋・心筋生理学特論 (前)	1~4	2							
血圧調整特論 (後)	1~4	2							
	未開講								
循環器薬理学演習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
	未開講								
循環器薬理学実習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
体循環異常特論 (前)	1~4	2		1					
人工臓器学特論 (後)	1~4	2					1		
機能制御外科学演習 (通)	1~4	4							
機能制御外科学実習 (通)	1~4	4							
侵襲制御・蘇生医学特論 (前)	1~4	2		1					
生体情報解析医学特論 (後)	1~4	2					1		
	未開講								
生体侵襲学特論 (前)	1~4	2							平成18年度履修希望者なし
	未開講								
生体機能管理学演習 (通)	1~4	4							平成18年度履修希望者なし
	未開講								

生体機能管理学実習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
四肢病態運動器学特論 (前)	1~4		2	1				
脊柱支持機構特論 (後)	1~4		2		1			
	未開講							
硬組織病態生理学特論 (前)	1~4		2					平成18年度履修希望者なし
機能形態再建学演習 (通)	1~4		4					
機能形態再建学実習 (通)	1~4		4					
	未開講							
皮膚感染症病因分析学特論 (前)	1~4		2	1				平成18年度履修希望者なし
皮膚腫瘍予防学特論 (後)	1~4		2		1			
	未開講							
皮膚病態制御学演習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							
皮膚病態制御学実習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
病態腎泌尿器学特論 (前)	1~4		2		1			
腎移植・血液浄化療法特論 (後)	1~4		2	1				
泌尿器腫瘍学特論 (後)	1~4		2					
腎泌尿器外科学演習 (通)	1~4		4					
腎泌尿器外科学実習 (通)	1~4		4					
口腔腫瘍制御学特論 (前)	1~4		2	1	1			
口腔機能再建学特論 (後)	1~4		2					
顎顔面口腔機能再建学演習 (通)	1~4		4					
顎顔面口腔機能再建学実習 (通)	1~4		4					
	未開講							
侵襲反応学特論 (前)	1~4		2	1	1			平成18年度履修希望者なし
災害対応特論 (後)	1~4		2					
	未開講							
救急医学演習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							
救急医学実習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
長寿生命医科学概論 (前)	1~4	2						
地域環境医科学概論 (後)	1~4	2						
	未開講							
生殖生物学特論 (前)	1~4		2	1				平成18年度履修希望者なし
組織化学特論 (後)	1~4		2		1			
	未開講							
生殖生物学演習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							
生殖生物学実習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							
遺伝情報発現特論 (前)	1~4		2	1				平成18年度履修希望者なし
情報生物学特論 (後)	1~4		2		1			
	未開講							
生物情報科学特論 (前)	1~4		2		1			平成18年度履修希望者なし
	未開講							
分子遺伝学演習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							
分子遺伝学実習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							
腫瘍細胞学特論 (前)	1~4		2		1			平成18年度履修希望者なし
がん化学予防特論 (後)	1~4		2	1				
	未開講							
腫瘍病理学演習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							
腫瘍病理学実習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							
細胞組織機能学特論 (前)	1~4		2	1				平成18年度履修希望者なし
細胞組織病態発生学特論 (後)	1~4		2		1			
	未開講							
病態細胞生物学演習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							
病態細胞生物学実習 (通)	1~4		4					平成18年度履修希望者なし
	未開講							

病原寄生動物学特論(前)	1~4	2		1		平成18年度履修希望者なし
感染防御免疫学特論(後)	1~4 未開講	2	1			平成18年度履修希望者なし
病原寄生動物学演習(通)	1~4 未開講	4				平成18年度履修希望者なし
病原寄生動物学実習(通)	1~4 未開講	4				平成18年度履修希望者なし
産業保健医学特論(前)	1~4	2	1			担当教員休職のため
健康管理医学特論(後)	1~4 未開講	2		1		
環境生態医学演習(通)	1~4 未開講	4				担当教員休職のため
環境生態医学実習(通)	1~4 未開講	4				担当教員休職のため
法医病理学特論(前)	1~4	2	1			平成18年度履修希望者なし
法医中毒学特論(後)	1~4	2				
薬毒物動態解析学特論(前)	1~4 未開講	2		1		
法医科学演習(通)	1~4 未開講	4				平成18年度履修希望者なし
法医科学実習(通)	1~4	4				平成18年度履修希望者なし
内分泌・代謝学特論(前)	1~4	2	1	1		
栄養学特論(後)	1~4	2				
環境内科学演習(通)	1~4	4				
環境内科学実習(通)	1~4 未開講	4				
循環病態学特論(前)	1~4	2	1			平成18年度履修希望者なし
高血圧学特論(後)	1~4 未開講	2		1		
病態制御内科学演習(通)	1~4 未開講	4				平成18年度履修希望者なし
病態制御内科学実習(通)	1~4 未開講	4				平成18年度履修希望者なし
消化器腫瘍学特論(前)	1~4	2	1			
消化器機能再建学特論(後)	1~4 未開講	2		1		平成18年度履修希望者なし
消化器機能調節特論(前)	1~4	2				平成18年度履修希望者なし
病態消化器外科学演習(通)	1~4	4				平成18年度履修希望者なし
病態消化器外科学実習(通)	1~4 未開講	4				
生殖医学特論(前)	1~4	2	1			平成18年度履修希望者なし
産科周産期学特論(後)	1~4 未開講	2				
生殖器腫瘍学特論(前)	1~4 未開講	2		1		平成18年度履修希望者なし
女性生殖医学演習(通)	1~4 未開講	4				平成18年度履修希望者なし
女性生殖医学実習(通)	1~4	4				平成18年度履修希望者なし

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 10	科目 157	科目 0	科目 167	科目 10	科目 157	科目 0	科目 167	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	神経生理学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
2	神経科学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
3	神経科学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
4	画像診断学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
5	神経賦活科学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
6	神経賦活科学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
7	視覚機能病態学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
8	視覚機能制御学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
9	視覚機能制御学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
10	小児病態代謝特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
11	側頭骨解剖 病理特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
12	聴覚病態学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
13	聴覚病態学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
14	精神病態医学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
15	精神病態医学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
16	先天異常特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
17	細胞遺伝学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
19	医科遺伝学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
20	医科遺伝学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
21	病態情報学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
22	先進検査医学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
23	先進検査医学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
24	医科認知情報科学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
25	臨床情報管理学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
26	機能解剖学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
27	機能解剖学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
28	循環器薬理学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
29	循環器薬理学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
30	生体侵襲学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし

31	生体機能管理学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
32	生体機能管理学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
33	硬組織病態生理学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
34	皮膚感染症病因分析学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
35	皮膚病態制御学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
36	皮膚病態制御学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
37	侵襲反応学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
38	救急医学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
39	救急医学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
40	生殖生物学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
41	生殖生物学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
42	生殖生物学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
43	遺伝情報発現特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
44	生物情報科学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
45	分子遺伝学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
46	分子遺伝学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
47	腫瘍細胞学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
48	腫瘍病理学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
49	腫瘍病理学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
50	細胞組織機能学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
51	病態細胞生物学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
52	病態細胞生物学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
53	病原寄生動物学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
54	病原寄生動物学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
55	病原寄生動物学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
56	産業保健医学特論	2	1～4	選択	担当教員休職のため
57	環境生態医学演習	4	1～4	選択	担当教員休職のため
58	環境生態医学実習	4	1～4	選択	担当教員休職のため
59	法医病理学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
60	法医科学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
61	法医科学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし

62	循環病態学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
63	病態制御内科学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
64	病態制御内科学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
65	消化器腫瘍学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
66	消化器機能調節特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
67	生殖医学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
68	生殖器腫瘍学特論	2	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
69	女性・生殖医学演習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし
70	女性・生殖医学実習	4	1～4	選択	平成18年度履修希望者なし

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講，廃止としたことに係る大学の所見

本研究科医科学専攻では多彩な授業科目を提供しており、平成18年度に開講しなかった科目は、履修希望者がいなかったため、学生の卒業要件などに特に支障をきたすことはない。担当教員の休職のため開講しなかった科目については選択科目であり、カリキュラム上、学生へ影響を及ぼすことはない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{70}{167} = 0.41$$

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計	貸与者 ・ 沖縄県 ・ 沖縄森林管理署 借用期間 (1 年更新) H18.4.1 ~ H19.3.31 H17.4.1 ~ H18.3.31			
	8,422,818 (6,981,452)	0 (0)	0 (0)	8,422,818 (6,981,452)				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計	大学全体			
	157,117 (157,117)	0 (0)	0 (0)	157,117 (157,117)				
(3) 講 義 室 教室等	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設	大学全体			
	9 6 室	9 7 室	2 8 9 室	1 0 室 (補助職員 3 人)				1 0 室 (補助職員 2 人)
(4) 専 任 教 員 研 究 室		調 査 対 象 学 部 等 の 名 称		室 数	医科学専攻(一般)及び 感染制御医科学専攻(独立) と共用			
		医学研究科(博士課程)		1 2 5 室				
(5) 図 書 ・ 設 備								
調査対象学部 等の名称	図書 [外国書] 冊	学術雑誌 [外国書] 種	視 聴 覚 資 料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	医学部 医科学専攻(一般)及び 感染制御医科学専攻(独立) と共用		
医学研究科 (博士課程)	119,667 [62,848] (118,144 [61,931])	3,226 [1,482] (1,983 [823])	913 (824)	2,352 (2,352)	21 (21)			
計	119,667 [62,848] (118,144 [61,931])	3,226 [1,482] (1,983 [823])	913 (824)	2,352 (2,352)	21 (21)			
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		9 . 9 3 8	8 6 0 席	1 . 0 0 7 . 7 5 0 冊				
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
		5 , 2 4 5	グラウンド，サッカー場，野球場，プールその他					
(8) 経費の見積り 及び維持 方法の概要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	国費による
		教員 1 人当りの研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円		
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
千円		千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要								

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	琉 球 大 学							備 考
	既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	定 員 超過率	学位又 は称号	
	年	人	年次 人	人	倍		年	
人文社会科学研究科 (博士後期課程) 比較地域文化専攻	3	4	-	12	1.50	博士(学術)	平成18年度	沖縄県中頭郡西原町 字千原1番地
人文社会科学研究科 (博士前期課程) 総合社会システム専攻	2	21	-	42	0.95	修士(法学, 政治学, 経済学, 経営学)	平成13年度	沖縄県中頭郡西原町 字千原1番地
人間科学専攻	2	17	-	34	0.88	修士(社会学, 教育学, 心理学, 哲学, 経済学, 地 理学, 学術)	平成13年度	
国際言語文化専攻	2	13	-	26	0.84	修士(文学, 歴史学, 言語科学)	平成13年度	
教育学研究科 (修士課程)								沖縄県中頭郡西原町 字千原1番地
学校教育専攻	2	5	-	10	1.80	修士(教育学)	平成2年度	
障害児教育専攻	2	3	-	6	0.66	修士(教育学)	平成18年度	
臨床心理学専攻	2	3	-	6	5.33	修士(教育学)	平成18年度	
教科教育専攻	2	24	-	48	1.00	修士(教育学)	平成2年度	
医学研究科 (博士課程)								沖縄県中頭郡西原町 字上原207番地
医科学専攻	4	25	-	100	0.92	博士(医学)	平成15年度	
感染制御医科学専攻	4	13	-	52	0.61	博士(医学)	平成15年度	
医科学専攻(修士課程)	2	15	-	30	0.60	修士(医科学)	平成16年度	
保健学研究科 (修士課程)								沖縄県中頭郡西原町 字千原1番地
保健学専攻	2	10	-	20	1.20	修士(保健学)	昭和61年度	
理工学研究科 (博士後期課程)								沖縄県中頭郡西原町 字千原1番地
生産エネルギー工学専攻	3	4	-	12	1.00	博士(工学)	平成9年度	
総合知能工学専攻	3	3	-	9	2.33	博士(工学)	平成9年度	
海洋環境学専攻	3	5	-	15	1.80	博士(理学, 学術)	平成10年度	
理工学研究科 (博士前期課程)								沖縄県中頭郡西原町 字千原1番地
機械システム工学専攻	2	22	-	44	0.86	修士(工学)	平成9年度	
環境建設工学専攻	2	18	-	36	1.16	修士(工学)	平成9年度	
電気電子工学専攻	2	18	-	36	1.16	修士(工学)	平成9年度	
情報工学専攻	2	12	-	24	1.50	修士(工学)	平成9年度	
数理学専攻	2	12	-	24	0.75	修士(理学)	平成10年度	
物質地球科学専攻	2	20	-	40	0.85	修士(理学)	平成10年度	
海洋自然科学専攻	2	26	-	52	1.26	修士(理学)	平成10年度	
農学研究科 (修士課程)								沖縄県中頭郡西原町 字千原1番地
生物生産学専攻	2	16	-	32	1.00	修士(農学)	昭和52年度	
生産環境学専攻	2	12	-	24	1.00	修士(農学)	昭和52年度	
生物資源科学専攻	2	12	-	24	0.91	修士(農学)	昭和52年度	
法務研究科 (専門職学位課程)								沖縄県中頭郡西原町 字千原1番地
法務専攻	3	30	-	90	1.00	法務博士 (専門職)	平成16年度	

大学の名称	琉球大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	定員 超過率	学位又 は称号	開設 年度	所在地
	年	人	年次 人	人	倍		年	
法文学部 総合社会システム学科 (昼間主コース)	4	215	12	884	1.03	学士(法学, 経済学, 経営学, 政策科学・国際関 係論, 総合社会シ ステム学)	平成9年度	沖縄県中頭郡 西原町字千原1番地
総合社会システム学科 (夜間主コース)	4	50	8	216	1.06	学士(法学, 経済学, 経営学, 政策科学・国際関 係論, 総合社会シ ステム学)	平成9年度	
観光科学科	4	40	-	160	1.03	学士(経営学)	平成17年度	
人間科学科	4	95	3	386	1.04	学士(人文社会)	平成9年度	
国際言語文化学科 (昼間主コース)	4	80	3	326	1.06	学士(人文学)	平成9年度	
国際言語文化学科 (夜間主コース)	4	30	4	128	1.01	学士(人文学)	平成9年度	
教育学部 学校教育教員養成課程	4	100	-	400	1.03	学士(教育学)	平成11年度	沖縄県中頭郡 西原町字千原1番地
生涯教育課程	4	90	-	360	1.02	学士(教育学)	平成11年度	
理学部 数理科学科	4	40	-	160	1.02	学士(理学)	平成8年度	沖縄県中頭郡 西原町字千原1番地
物質地球科学科	4	65	-	260	1.04	学士(理学)	平成8年度	
海洋自然科学科	4	95	-	380	1.03	学士(理学)	平成8年度	
医学部 医学科	6	95	5	590	1.00	学士(医学)	昭和54年度	沖縄県中頭郡 西原町字上原207番地
保健学科	4	60	-	240	1.02	学士(保健学)	昭和56年度	
工学部 機械システム工学科 (昼間主コース)	4	90	3	366	1.02	学士(工学)	平成5年度	沖縄県中頭郡 西原町字千原1番地
機械システム工学科 (夜間主コース)	4	20	-	80	1.21	学士(工学)	平成5年度	
環境建設工学科	4	90	4	368	1.04	学士(工学)	平成5年度	
電気電子工学科 (昼間主コース)	4	80	3	326	1.04	学士(工学)	平成5年度	
電気電子工学科 (夜間主コース)	4	10	-	40	1.27	学士(工学)	平成5年度	
情報工学科	4	60	-	240	1.06	学士(工学)	平成5年度	
農学部 生物生産学科	4	55	-	220	1.04	学士(農学)	平成3年度	沖縄県中頭郡 西原町字千原1番地
生産環境学科	4	40	-	160	1.11	学士(農学)	平成3年度	
生物資源科学科	4	35	-	140	1.07	学士(農学)	平成3年度	

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認 可 時 (H15年4月1日)	特になし		
年次計画履行状況 調 査 時 (H16年5月1日)	特になし		
年次計画履行状況 調 査 時 (H17年5月1日)	特になし		

7. 全般的事項

< 医科学専攻（博士課程） >
設置の趣旨及び必要性

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>教育上の理念，目的</p> <p>近年の急速な生命科学、医科学の進歩は、教育・研究・診療の方法や技術上の改良・転換では既に対応しきれない状況を作り出しており、大胆な構造改革やシステムの改革及び転換を図っていく必要に迫られている。</p> <p>これらをふまえ、本学医学部の理念である「南に開かれた国際性豊かな医学部」の実践と感染症に関するこれまでの研究実績を基に、特色ある学術研究の高度化に向けた感染制御医科学専攻（独立）の設置 大学院の教育研究の質的向上に向けて既設の一般3専攻の医科学専攻（1専攻）への改組・統合 医学研究科の改組に伴う学部教育の見直しと大講座制への改組を行う。</p> <p>具体的には、大学院医学研究科での既設の3専攻（形態機能系、生体制御系、環境生態系）を1専攻（医科学）に統合するとともに、一般専攻は3つの研究領域に分け、特に沖縄・亜熱帯系医学・医療の地域性を重視する環境長寿医科学領域を設ける一方、機能再生医科学、先進情報医科学の2研究領域を加えることにより、広い医療に対応する研究体制を構築し、沖縄地域での医学の高度専門職業人の養成などの「地域に根差し、地域特性を踏まえた学生中心の教育研究体制」の確立を目指すものとした。</p> <p>（人材養成） 高度な独創性養成と国際的な視点を併せ持つとともに、沖縄の地域性を重視し、ひいては沖縄・東南アジア等の亜熱帯地方に対する社会の発展に貢献する医科学研究者と、地域に根差した高度専門医療職業人を養成する。</p> <p>（医学研究科の構成） （医科学専攻） 1) 先進情報医科学領域 本領域では、人間の発生、発達、機能、疾病など多岐にわたる現象を最先端の研究機器、方法論によって解明することを目的とする。具体的には、分子・遺伝子、蛋白、生体内化学物質、医用エネルギー、薬物などを用いて高度な診断法、治療法を開発し、より豊かな生活に人類を導くための領域である。</p> <p>基盤研究の分野で解明されていく基礎的概念を臨床に寄与できるための統合的・展開的研究分野</p>	<p>教育上の理念，目的及び養成する人材像を以下の資料等により明示し，認可時の計画どおり履行。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度学生便覧(資料1) ・平成19年度琉球大学大学院医学研究科(博士課程)学生募集要項(資料2)

として位置付け、これを教育研究する。

2)機能再生医科学領域

本領域では、疾病又は先天異常により喪失した人体機能の細胞レベルでの再生を目指し、さらに同種組織移植を含む器官及び臓器レベルの再建を目的とする。分子生物学・遺伝子工学などの技術を駆使し分子及び細胞レベルにおける生命現象の発現と調節の機構を明らかにし、その応用により人工臓器開発を視野に入れた機能再建を目指す。さらに本学部ですでに確立されている微小血管縫合術を用いた同種移植ばかりでなく、組織工学を用いてprefabricationした自家組織移植の臨床応用を目指す。

3)環境長寿医科学領域

沖縄県には多数の百寿者がおり、長寿県として世界的に認知されている。しかしその一方で、壮年層・若年層においては高血圧、動脈硬化、癌などの生活習慣病の頻度が他県に勝るとも劣らない。このことから、沖縄県には長寿に関わる未知の遺伝的要因や環境要因、社会医学的要因が存在すると同時に、それらに拮抗する要因が年々台頭しつつあると考えられる。

本研究領域では、沖縄県の長寿と生活習慣病に関わる要因群について、分子遺伝学、地理病理学、分子疫学的観点から解析し、全国民の長寿と生活習慣病の予防につながる知見を得る。また、超高齢者や生活習慣病患者の内科的・外科的治療の実践、さらにそのような医療におけるディジジョンメイキングやコスト管理についても教育研究する。

教育課程の編成の考え方及び特色

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a) 教育課程編成の考え方 医科学専攻では、沖縄の地域特性に根差した医学・医療問題(島嶼医療、ウイルス性発癌、遺伝病、長寿医学、環境医学、国際医療など)を取り上げ、特色ある医学教育・研究を行い、もって地域や国際社会に貢献し得る広い視野と独創性を備えた医学研究者、高度職業人の育成に努める。 また、当然のことながら著しい医学・医療の進歩に取り残されることなく先進医学的教育を行い、医学の進歩に柔軟に対応できる基礎・臨床医学者の育成を行う。</p> <p>(b) 教育課程編成の特色 複数教官による学際的教育 従来の講座単位で行っていた視野の狭い研究教育を改め、一般領域では大研究領域で一丸となった複数教官による教育・指導体制をとる。特に専門教育科目の演習では、研究領域の枠を超えた共通セミナーやデータ検討会を定期的を開催し、異分野交流や学際的教育研究の積極的な推進を図る。</p> <p>地域性、国際性を重視した教育 亜熱帯・島嶼環境など、特異な地域環境に由来する特有の医学、医療問題を研究、解決するための研究教育を積極的に進める。加えて、外国人留学生を多数受け入れる体制を整え、学生の国際性を高めるとともに、相互の教育・研究水準の向上と諸外国との相互理解と友好を深め、国際貢献に寄与する。 本学部では、海外学術研究や国際医療協力等を通じてラオス、タイ、インドネシア、カンボジア、ブラジルなどの国々の医師、医療従事者を多数受け入れ、研修・再教育を実施してきた。また、タイ国チェンマイ大学、中国中山大学、広西大学、台湾の台湾大学等、多くの学術交流協定に基づく共同研究やマレーシアからの国費留学生の積極的な受入れなども進めている。 特に、平成2年以来、学部をあげて支援してきたラオス国への医療協力(JICA公衆衛生プロジェクト)は、引き続き同国における病院整備を含む医師、医療従事者の臨床再教育プロジェクトとして継続中である。</p>	<p>設置認可申請書の様式第2号の授業科目の概要を添付, 変更が生じている場合は新旧が分かる形で添付してください</p> <p>・設置認可申請書 授業科目の概要(様式2号)添付(資料3)</p>

履修指導の方法（入学から修了までどのように教育するのか）

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況																							
<p>(a) 標準修了年限 4年</p> <p>(b) 修了要件 本研究科に4年以上在学し、32単位（共通教育科目の専攻共通科目4科目8単位は、必修、共通特色科目のうちから2科目4単位を選択、専門教育科目において所属する領域の共通科目2科目4単位、講義科目8単位、演習4単位、実習4単位）以上を修得し、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>	<p>進級状況，成績評価の分布状況，関係規程の抜粋等を転載又は添付</p> <p>H 18.5.1 現在</p> <table border="1" data-bbox="823 472 1433 1998"> <thead> <tr> <th colspan="2">在籍状況</th> <th>進級状況</th> <th>成績評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年次</td> <td>医科学専攻 26名 (12名) [1名]</td> <td>留年3名 休学 (臨床の勉強のため) (家業手伝い)</td> <td>* 留年生 1名は入学当初より休学のため取得単位なし 優 22単位 77.3% 良 8単位 26.7% 可 0 不可 0</td> </tr> <tr> <td>2年次</td> <td>医科学専攻 16名 (7名)</td> <td>留年2名 休学 (臨床の勉強のため) (経済的理由)</td> <td>1年後期までの取得単位 優 278単位 91.4% 良 22単位 7.2% 可 4単位 1.3% 不可 0 1人あたりの取得単位数 21.7単位 * 留年生 優 54単位 87.1% 良 8単位 12.9% 可 0 不可 0</td> </tr> <tr> <td>3年次</td> <td>医科学専攻 18名 (4名) [2名]</td> <td>留年なし</td> <td>2年後期までの取得単位 優 518単位 86.9% 良 72単位 12.1% 可 6単位 1% 不可 0 1人あたりの取得単位数 33.1単位</td> </tr> <tr> <td>4年次</td> <td>医科学専攻 9名</td> <td>留年なし</td> <td>3年後期までの取得単位 優 242単位 76.6% 良 68単位 21.5% 可 4単位 1.3% 不可 0 1人あたりの取得単位数 34.9単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>() 社会人 [] 留学生</p>				在籍状況		進級状況	成績評価	1年次	医科学専攻 26名 (12名) [1名]	留年3名 休学 (臨床の勉強のため) (家業手伝い)	* 留年生 1名は入学当初より休学のため取得単位なし 優 22単位 77.3% 良 8単位 26.7% 可 0 不可 0	2年次	医科学専攻 16名 (7名)	留年2名 休学 (臨床の勉強のため) (経済的理由)	1年後期までの取得単位 優 278単位 91.4% 良 22単位 7.2% 可 4単位 1.3% 不可 0 1人あたりの取得単位数 21.7単位 * 留年生 優 54単位 87.1% 良 8単位 12.9% 可 0 不可 0	3年次	医科学専攻 18名 (4名) [2名]	留年なし	2年後期までの取得単位 優 518単位 86.9% 良 72単位 12.1% 可 6単位 1% 不可 0 1人あたりの取得単位数 33.1単位	4年次	医科学専攻 9名	留年なし	3年後期までの取得単位 優 242単位 76.6% 良 68単位 21.5% 可 4単位 1.3% 不可 0 1人あたりの取得単位数 34.9単位
在籍状況		進級状況	成績評価																					
1年次	医科学専攻 26名 (12名) [1名]	留年3名 休学 (臨床の勉強のため) (家業手伝い)	* 留年生 1名は入学当初より休学のため取得単位なし 優 22単位 77.3% 良 8単位 26.7% 可 0 不可 0																					
2年次	医科学専攻 16名 (7名)	留年2名 休学 (臨床の勉強のため) (経済的理由)	1年後期までの取得単位 優 278単位 91.4% 良 22単位 7.2% 可 4単位 1.3% 不可 0 1人あたりの取得単位数 21.7単位 * 留年生 優 54単位 87.1% 良 8単位 12.9% 可 0 不可 0																					
3年次	医科学専攻 18名 (4名) [2名]	留年なし	2年後期までの取得単位 優 518単位 86.9% 良 72単位 12.1% 可 6単位 1% 不可 0 1人あたりの取得単位数 33.1単位																					
4年次	医科学専攻 9名	留年なし	3年後期までの取得単位 優 242単位 76.6% 良 68単位 21.5% 可 4単位 1.3% 不可 0 1人あたりの取得単位数 34.9単位																					

琉球大学大学院学則（抜粋）

（成績の評価）

第30条 成績の評価は、優、良、可、不可とし、優、良、可を合格とする。ただし、法務研究科については、別に定める。

琉球大学大学院医学研究科規程（抜粋）

（履修方法）

第6条 学生は、履修する授業科目の選択に当たっては、指導教員の指導の下に、修士課程にあっては、

（略）

博士課程医科学専攻にあっては、専攻共通科目8単位、共通特色科目4単位、所属領域の共通科目4単位、講義科目8単位、演習4単位、実習4単位、計32単位以上を、感染制御医科学専攻にあっては

（略）

それぞれ履修するものとする。

（他の大学院等における授業科目の履修）

第9条 学生は、研究科委員会の承認を得て、学則第27条の規定に基づき、他の大学院の授業科目を履修することができる。

（課程の修了要件）

第13条

2 博士課程の修了要件は、研究科に4年以上在学し、第6条に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関して

は、研究科委員会が別に定めるところにより優れた業績を上げた者と認められた場合には3年以上在学すれば足りるものとする。

各施設，学生の自習室等の考え方

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a)講義・演習室 所属する研究領域、研究分野ごとの研究室、実験室等は、指導教官の責任の下にいつでも使用できるようにする。</p> <p>(b)自習室 所属する研究領域、研究分野ごとの研究室、実験室等は、指導教官の責任の下にいつでも使用できるようにする。</p> <p>(c)図書（データベース等含む） 平日で夜8時まで開館。土曜日10時から16時まで開館しているが、24時間開館の方向で検討中である。なお、将来は電子図書館化の計画があるため、必要な時間に必要な資料の検索、閲覧が各々の研究室で可能となる予定である。</p> <p>(d)情報設備 認可時には記述なし。</p>	<p>(a)講義・演習室 所属する研究領域、教育研究分野ごとの研究室や実験室が、指導教員の責任の下にいつでも使用できる。</p> <p>(b)自習室 所属する研究領域、研究分野ごとの研究室、実験室等は、指導教官の責任の下にいつでも使用できる。</p> <p>(c)図書（データベース等含む） 図書館については、平日は午前8時30分から午後10時まで、土・日曜日は、午前10時から午後8時まで開館している。閲覧座席数は134席、検索・電子ジャーナル閲覧用コンピュータ12台、ビデオテープ・DVD等の閲覧装置を備えている。</p> <p>基礎講義棟103コンピュータ室に50台、附属図書館医学部分館に12台、各指導教員研究室ごとにコンピュータが設置されており、Webで授業科目の登録を行っている。</p>

入学者選抜の概要

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a)入学者選抜の概要 認可時には記述なし。</p> <p>(b)アドミッション・ポリシー 認可時には記述なし。</p> <p>(c)社会人受入れのための具体的方策 認可時には記述なし。</p>	<p>学生数の状況，入学者選抜要項の抜粋等を転載又は添付</p> <p>学生数は、「1 調査対象大学院等の概要等」に記載</p> <p>平成19年度琉球大学大学院医学研究科（博士課程）学生募集要項を添付。（資料2）</p> <p>平成16年度から必修化された「卒後臨床研修制度」や地域医療への協力依頼が多く、その対応で医師確保が厳しい状況になり、大学院への進学者が減少した。しかし、医学研究科修士課程の卒業生が平成17年度から出ており、そのなかから医学研究科博士課程医科学専攻へ3人の卒業生が入学した。今後とも同修士課程からの進学者が見込まれ、また、募集機会も第三次募集まで行って学生確保に努めたい。</p> <p>今後は、社会人枠で入学希望者が年々増えていることから、社会人枠の拡大を含め、臨床分野への大学院生確保の協力依頼や大学院在学中、修了後の待遇改善を示し、進学を勧誘を図りたい。</p> <p>研究生は、平成18年10月1日現在で99名在籍している。</p>

専ら夜間において教育を行う専攻の場合及び大学院設置基準14条による教育方法の特例を実施する場合

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a)修業年限 本研究科に4年以上在学し、所定の単位(32単位以上)を修得し、かつ、在学中に博士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格した者に修了を認める。 ただし、在学期間に関して、本研究科が優れた研究業績をあげたと認められた場合には、3年以上在学すれば修了を認めることができる。</p> <p>(b)履修指導の方法 医科学専攻の教育は、授業科目の履修及び学位論文の作成等に対する指導により行う。 授業科目は、研究を進めるにあたって導入となる「専攻共通科目」と地域医学の特色を講義する「共通特色科目」及び各々の専門領域の基盤となり、あるいは研究課題に特化した「専門科目」の講義、演習、実習で構成される。</p> <p>a. 共通教育科目 共通教育科目のうち、「研究方法論概論」「生命倫理学概論」「実験動物学概論」「情報医学概論」など医学研究科における教育研究の導入に当たる科目であり、全科目8単位をすべての学生に対して必修科目とする。 また、共通特色科目(島嶼環境医学概論、熱帯医用資源学概論など)では、沖縄の地域医学の特色を講義する。(5科目の中から2科目4単位を選択必修) 入学した全ての学生は、これら共通科目合計12単位以上を1-2年次の間に履修させる。</p> <p>b. 専門教育科目 専門教育科目は、各々の研究領域に共通する領域共通科目と個々の研究分野から提供される専門科目(講義、演習、実習)があり、領域共通科目は2科目4単位を必修とし、専門科目は、所属する研究領域の中から講義科目4科目8単位、演習4単位、実習4単位を選択必修として1-4年次の間に履修させる。</p> <p>c. 学位(博士)論文の作成指導 論文の作成指導は、1人の主指導教官と課題に関連した1-2人の副指導教官によって行う。</p> <p>d. 学位論文の審査法 所定の単位を修得(あるいは修得予定)した学生は、主指導教官を経て学位論文審査の申請を研究科長に行うものとする。研究科長は論文内容の要旨等について、主指導教官の説明を受けた上で受理すべきか否かを決定する。 論文の審査については、研究科委員会の指名</p>	<p>(a)修業年限 本研究科に4年以上在学し、所定の単位(32単位以上)を修得し、かつ、在学中に博士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格した者に修了を認める。 ただし、在学期間に関して、本研究科が優れた研究業績をあげたと認められた場合には、3年以上在学すれば修了を認めることができる。</p> <p>(b)履修指導の方法 医科学専攻の教育は、授業科目の履修及び学位論文の作成等に対する指導により行う。 授業科目は、研究を進めるにあたって導入となる「専攻共通科目」と地域医学の特色を講義する「共通特色科目」及び各々の専門領域の基盤となり、あるいは研究課題に特化した「専門科目」の講義、演習、実習で構成される。</p> <p>a. 共通教育科目 共通教育科目のうち、「研究方法論概論」「生命倫理学概論」「実験動物学概論」「情報医学概論」など医学研究科における教育研究の導入に当たる科目であり、全科目8単位をすべての学生に対して必修科目とする。 また、共通特色科目(島嶼環境医学概論、熱帯医用資源学概論など)では、沖縄の地域医学の特色を講義する。(5科目の中から2科目4単位を選択必修) 入学した全ての学生は、これら共通科目合計12単位以上を1-2年次の間に履修させる。</p> <p>b. 専門教育科目 専門教育科目は、各々の研究領域に共通する領域共通科目と個々の研究分野から提供される専門科目(講義、演習、実習)があり、領域共通科目は2科目4単位を必修とし、専門科目は、所属する研究領域の中から講義科目4科目8単位、演習4単位、実習4単位を選択必修として1-4年次の間に履修させる。</p> <p>c. 学位(博士)論文の作成指導 論文の作成指導は、1人の主指導教員と課題に関連した1-2人の副指導教員によって行う。</p> <p>d. 学位論文の審査法 所定の単位を修得(あるいは修得予定)した学生は、主指導教員を経て学位論文審査の申請を研究科長に行うものとする。研究科長は論文内容の要旨等について、主指導教員の説明を受けた上で受理すべきか否かを決定する。 論文の審査については、研究科委員会の指名する</p>

する主査1名と副査2名で構成する審査委員会で審査と最終試験を行い、審査委員会の報告に基づいて、研究科委員会が最終的に審査の可否を判定する。

(c)授業の実施方法

この特例を受けようとする者は、指導教官と相談の上、授業及び研究指導を夜間及び特定の時期に履修できるよう履修計画書を作成し、これに基づき履修するものとする。

なお、夜間に授業を行う場合の授業時間帯は、原則として平日は5時限(17:50-19:20)及び6時限(19:30-21:00)までの間とする。

(d)教員の負担の程度

14条特例の趣旨に則した十分な授業及び研究指導が行えるよう、教官全員が教育方法の特例による授業を、実施し得る体制を整える。なお、なるべく同一日に昼間及び夜間双方に授業を担当することがないように授業時間の編成を工夫する等教官に対する負担をできるだけ軽減するよう努める。

研究指導についても、教官は、昼間の授業及び研究指導後も夜間まで研究を行っているので、社会人である学生が夜間その他の時間に研究指導を受けるための体制を確保することに支障はない。

(e)図書館・情報処理施設等の利用方法や学生の厚生に対する配慮、必要な職員の配置

研究室、実験室等

所属する研究領域、研究分野ごとの研究室、実験室等は、指導教官の責任の下にいつでも使用できるようにする。

図書館

平日で夜8時まで開館。土曜日も10時から16時まで開館しているが、24時間開館の方向で検討中である。なお、将来は電子図書館化の計画があるため、必要な時間に必要資料の検索、閲覧が各々の研究室で可能となる予定である。

附属研究施設・設備等の利用

動物実験施設やアイソトープ実験施設は、利用者カードで時間外の使用が可能であるので、夜間や休日の利用が現在すでに可能である。

事務体制、事務職員の配置

職員の配置については、交代制等による夜間等の勤務体制を取る。

(f)学生確保の見通し

本学医学研究科において最近5年間に博士(医学)の学位を取得した者は118名に上るが、うち48名は社会人のまま研究生として在籍して学位を取得した者(論文博士)である。また、医員の

主査1名と副査2名で構成する審査委員会で審査と最終試験を行い、審査委員会の報告に基づいて、研究科委員会が最終的に審査の可否を判定する。

(c)授業の実施方法

この特例を受けようとする者は、指導教員と相談の上、授業及び研究指導を夜間及び特定の時期に履修できるよう履修計画書を作成し、これに基づき履修するものとする。

なお、夜間に授業を行う場合の授業時間帯は、原則として平日は6時限(18:00-19:30)及び7時限(19:40-21:10)までの間とする。

(d)教員の負担の程度

14条特例の趣旨に則した十分な授業及び研究指導が行えるよう、教員全員が教育方法の特例による授業を、実施し得る体制を整える。なお、なるべく同一日に昼間及び夜間双方に授業を担当することがないように授業時間の編成を工夫する等教員に対する負担をできるだけ軽減するよう努めている。

研究指導についても、教員は、昼間の授業及び研究指導後も夜間まで研究を行っているので、社会人である学生が夜間その他の時間に研究指導を受けるための体制を確保することに支障はない。

(e)図書館・情報処理施設等の利用方法や学生の厚生に対する配慮、必要な職員の配置

研究室、実験室等

所属する研究領域、研究分野ごとの研究室、実験室等は、指導教員の責任の下にいつでも使用できるようにする。

図書館

平日で夜10時まで開館。土・日曜日も10時から20時まで開館しているが、24時間開館の方向で検討中である。閲覧座席数は134席、検索・電子ジャーナル閲覧用コンピュータ12台、ビデオテープ・DVD等の閲覧装置を備えている。

附属研究施設・設備等の利用

動物実験施設やアイソトープ実験施設は、利用者カードで時間外の使用が可能であるので、夜間や休日の利用が現在すでに可能である。

事務体制、事務職員の配置

職員の配置については、交代制等による夜間等の勤務体制を取っていない。

(f)学生確保の見通し

平成16年度から必修化された「卒後臨床研修制度」や地域医療への協力依頼が多く、その対応で医師確保が厳しい状況になり、大学院への進学者が減少した。しかし、医学研究科修士課程の卒業者が平

多くが昼夜開講制が実施されれば進学したいとしており、昼夜開講制を採用することによって、これら研究生・医員の多くが社会人枠で本医学研究科に入学することが期待される。

研究生(平成14年4月1日現在207名在籍)の多くは本学医学部出身(73%)であり、医療職に就きながら、博士の学位取得又は先端医療技術と知識の獲得を目指している。今後、第14条特例による昼夜開講制が採用されれば、これら研究生の意に沿った就学体制が実現し、応募者は増加し学生確保の見通しは非常に明るくなる。

(g)入学者選抜方法

a. 出願資格

大学の医学、歯学又は修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者及び卒業見込みの者

理学部、農学部等、修業年限4年の学部を卒業後、2年間の大学院修士課程を修了した者及び修了見込みの者

外国において、学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学又は獣医学)を修了した者及び卒業見込みの者

文部科学大臣の指定した者

その他本研究科において大学(医学、歯学又は修業年限6年の獣医学を履修する課程)を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

上記の一般学生等の出願資格を有する者で、かつ職業を有し、その所属する組織団体の責任者の受験承諾書を提出できる者

b. 選抜方法

筆記試験

英語の筆記試験を行う。

口頭試問

出題した専門分野について必要な学力を問う。外国人留学生においては日本語能力も評定する。

筆記試験、口頭試問、調査書の審査及び健康診断の結果を総合して判定する。

成17年度から出ており、そのなかから医学研究科博士課程医科学専攻へ3人の卒業者が入学した。今後とも同修士課程からの進学者が見込まれ、また、募集機会も第三次募集まで行って学生確保に努めたい。

今後は、社会人枠で入学希望者が年々増えていることから、社会人枠の拡大を含め、臨床分野への大学院生確保の協力依頼や大学院在学中、修了後の待遇改善を示し、進学を勧誘を図りたい。

研究生は、平成18年10月1日現在で99名在籍している。

平成19年度琉球大学大学院医学研究科(博士課程)学生募集要項を添付。(資料2)

社会人を対象とした教育の一部を本校以外の場所（サテライトキャンパス）で実施する場合

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a)教育研究環境 認可時には本学は（サテライトキャンパス）は実施していない。</p> <p>(b)施設設備，図書</p>	該当なし

自己点検・評価

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>実施体制 認可時には記述なし。</p>	<p>委員会の開催状況，関係規程の抜粋等を転載又は添付</p> <p>大学全体として平成20年度に学位授与機構の認証評価を予定している。 18年度は外部評価委員会による評価を実施。研究科独自の評価については、学年進行の終了後の19年度以後に行う予定。</p> <p>琉球大学医学部自己評価委員会。 随時開催 琉球大学医学部自己評価委員会規程添付。(資料4)</p>

情報提供

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>学内（学生・教職員向け） 実施方法 認可時には記述なし。</p> <p>学外（受験生・地域社会向け） 実施方法 認可時には記述なし。</p>	<p>利用状況，掲載項目・資料の抜粋等を転載又は添付</p> <p>Web上での授業科目の登録、成績評価の実施。前学期・後学期授業時間割は、前学期、後学期開始時に学生及び教員へペーパーで配布している。</p> <p>平成19年度琉球大学大学院医学研究科（博士課程）学生募集要項(資料2)を受験生及び各関係大学等へ配布している。</p>

教員の資質の維持向上の方策（FD活動も含む）

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a)実施体制 認可時には記述なし。</p> <p>(b)教員研修 認可時には記述なし。</p> <p>(c)授業評価等の実施 認可時には記述なし。</p>	<p>委員会の開催状況，関係規程の抜粋等を転載 又は添付 実施していない</p> <p>研修会の開催状況などを記載 実施していない</p> <p>授業評価等の実施状況，具体的な改善例など を記載 実施していない</p>

管理運営の考え方

認 可 時 の 計 画	履 行 状 況
<p>(a)組織体制 認可時には記述なし。</p> <p>(b)審議事項 認可時には記述なし。</p>	<p>委員会の開催状況，関係規程の抜粋等を転載 又は添付 医学研究科委員会は、毎月第2水曜日に開催。</p> <p>琉球大学大学院医学研究科委員会規程を添付(資 料5)</p>

その他（当該年度の状況が以下の事項に該当する場合は、それぞれの事項ごとの観点に照らして対応状況を説明してください。）

事 項	対 応 状 況
<p>(a) 当該年度の受入学生数が入学定員を著しく下回っている（0.5倍未満）もの 【観点】 ・ 受入学生数が入学定員を著しく下回っている点を踏まえ、今後の学生募集方法等の改善方策について説明すること（今年度の入試が実施済の場合は、その状況も付記すること）。</p> <p>(b) 未開講科目数が著しく多い（5科目以上）もの 【観点】 ・ 未開講科目数が著しく多い点を踏まえ、当初の設置構想に照らして、教育課程が適切に運営されているかについて説明すること。また、履修指導への配慮等を含む改善のための具体的方策についても説明すること。</p> <p>(c) 当該専攻の入学定員超過率が1.3倍以上のもの 【観点】 ・ 入学定員を著しく超過している点を踏まえ、授業の方法（少人数教育等への配慮）、学生の学習環境（自習室の確保等）について、十分な教育効果をあげることができるよう適切に配慮されているかについて説明すること。</p>	<p>該当しない</p> <p>本研究科医科学専攻では、多彩な授業科目を提供しており、平成18年度に開講しなかった科目は、履修希望者がいなかったため、学生の卒業要件などに特に支障を来すことはない。また、担当教員の休職のため開講しなかった科目については選択科目であり、カリキュラム上、学生へ影響を及ぼすことはない。</p> <p>該当しない</p>